

公立大学法人北九州市立大学 学長様

出張報告書

外国語学部中国学科

白石麻保

2024年3月31日

下記の通り報告申し上げます。

記

1. 期間 : 2023年3月29日～2024年3月26日
2. 出張先 : Chinese University of Hong Kong (CUHK・香港中文大学)
3. 用務内容 : 香港中国特別行政区において CUHK を中心に各大学でのセミナーへの出席、研究に必要なデータの収集・整理、香港以外の地域での現地調査
4. 成果 : 次の通り研究活動を実施し、セミナーへの参加、研究交流も行った。

1) セミナー等への参加

・ CUHK 経済学科内外の研究機関が主宰するセミナーに参加し、中国経済、アジア経済を主たる対象とする経済の諸テーマについての分析に関するテーマでの議論に参加した。

・ 諸テーマでは歴史データを用いた現在の都市化とイノベティブな企業の集積、指定感染症とする政策的方針の要因について、人口移動と技術のスピルオーバーをはじめとするユニークな因果推論での議論が行われた。

・ 諸テーマの報告を通じて因果推論の分析上の工夫と改善の余地、更に自身の研究での注意点など、工夫の余地を体感することができた。具体的には、データの限界に対するその克服のための工夫や、テーマ設定と分析上の手法と得られる結果の意味付けとの論理的整合性のとり方等である。

・ 中国経済についての将来性についてのシンポジウムに参加した。

・ 中国経済研究についてのシンポジウムに参加した。

2) 研究

- ・データ整理、分析へのセッティング及び計測・推定を行った。
- ・研究テーマに関する資料収集、整理を行った。

・ その他

台湾、マカオ、ラオス等での現地調査を行った。中国からの進出企業が多く、中国からの起業家、企業経営者、及び労働者が多いこれらの地域における中国製造業及びサービス業の展開の現状把握を行った。ここで各種の人的ネットワークが機能し事業が行われていることが見出された。また、中国進出企業が現地に与える影響の大きさも見られた。

3) 今後の研究活動への上記知見の活用について

上述で得られた知見・経験をもとに、従来のテーマを拡張・修正して研究を遂行していく予定である。そのために追加的なデータ整理と計測を行い、修正方向の妥当性を現在チェックしている。

以上